

新しい年度のスタートです



令和8年度がスタートしました。今年度も、小学校や幼稚園での教育活動の様子などを、この紙面を活用して、皆様にお伝えしたいと考えております。学校や園のことが少しでも伝わる(見える)材料になるようにという意味で、昨年度「台場の灯」と名付けました。今年度も同じ名前で、不定期ですが発行したいと思います。よろしくお願いいたします。

6日(月)には、小学校の着任式(今年度配置になった教職員紹介)と始業式を校庭で行いました(写真左)。その後、園の方でもめ組さんの始業式、そして、体育館で、1年生の入学式を行いました。入学式には、6年生のみの出席なので、2年生から5年生は早々に下校になりました。

翌7日(火)は、小学校では、実質的な学年・学級開きでした(写真右は6年生の学年開きの様子)。

そして、8日(水)には、幼稚園の入園式があり、これで、全員がそろいました。小学校6学年12クラス計341名、幼稚園4歳児1クラス・5歳児1クラスで2クラス計15名での出発です。

1年間の始まりは、子どもたちにとっては、やはりいつもとは少し違うようです。1つ学年が進み、小学校では、クラスのメンバーが変わり(1学年2クラスとは言えども、半分は入れ替わる計算です)、担任も変わりました。学年によっては、転入生もありました。

入学・入園は、本当の意味でのスタートですが、進級も、リ・スタート(再出発)以上の意味合いがあるのだと、子どもたちを見ていると感じます。3月よりも、登校時刻が早くなっている児童がたくさんいます。登校してきて(保健室に立ち寄らず)まっすぐ教室に向かっている児童がいます。新しい係決めで、やる気を出して手を挙げている児童がいます。張り切って1年生のお世話を励む6年生がたくさんいます。初めて出会う友達に、一生懸命声をかける1年生がいます。

今この時のやる気自体は、実は長く続くとは限らず、どこかで、それ以前の様子に戻る児童も例年いるのですが、私はそれはそれで構わないと思っています。「今、この時に、少しでもよりよくしたい」「今までより頑張りたい」と考え、実際に行動に移せたことが、何より大切なのではないでしょうか。今の気持ちを大切に、1年間、焦らずゆっくり歩いていきましょう。2年生以上には、始業式で「千里の道も一歩から」という言葉を送りました